

# 愛媛県の地震

2020年（令和2年）9月

## 目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（9月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（9月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（9月）	2
5. 地震一口メモ「愛媛県における中央構造線 断層帯の活動について」	3

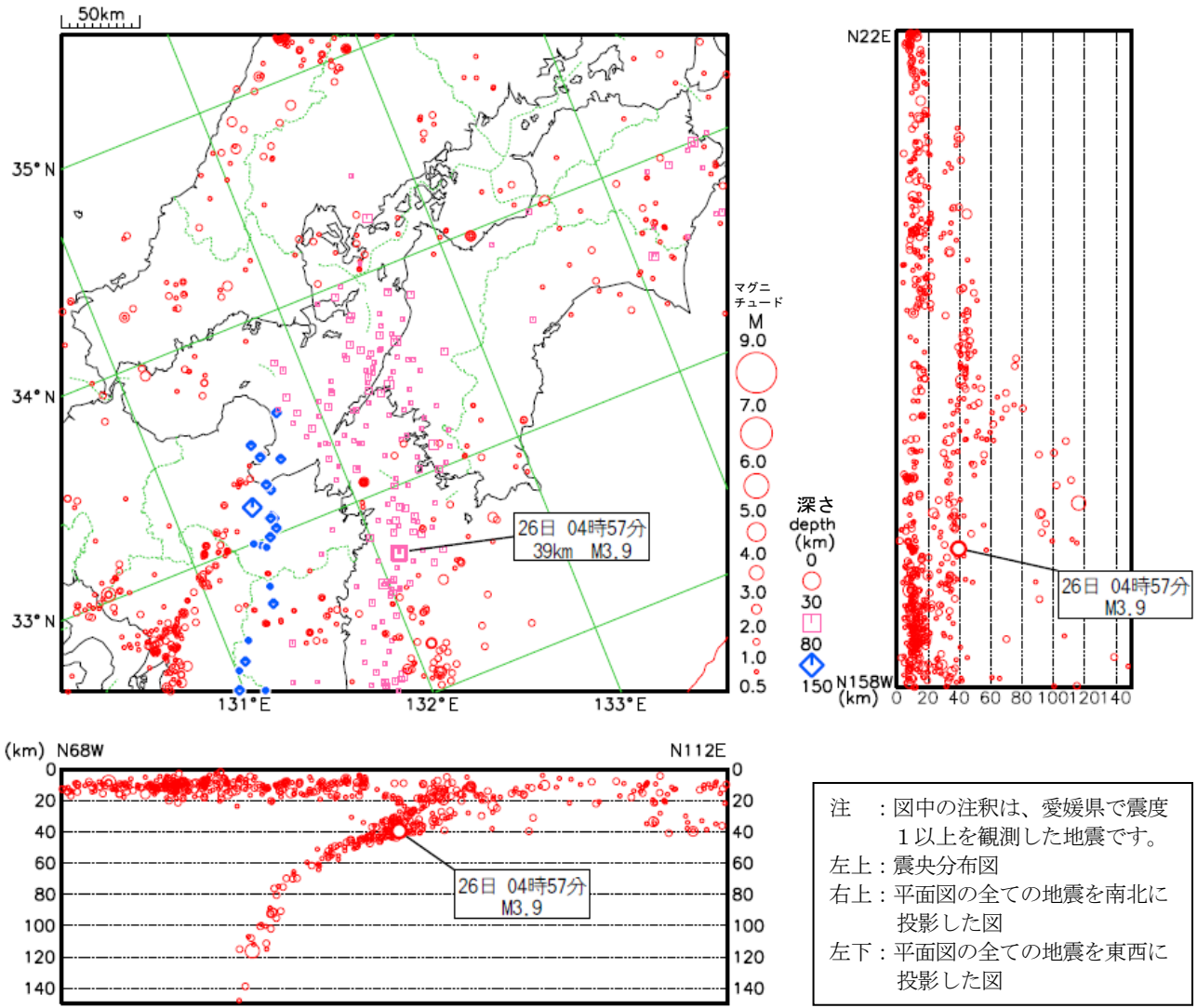
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

# 1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2020年9月1日～9月30日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

## 2. 地震概況（9月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は47回（先月は37回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は1回（先月は1回）でした。

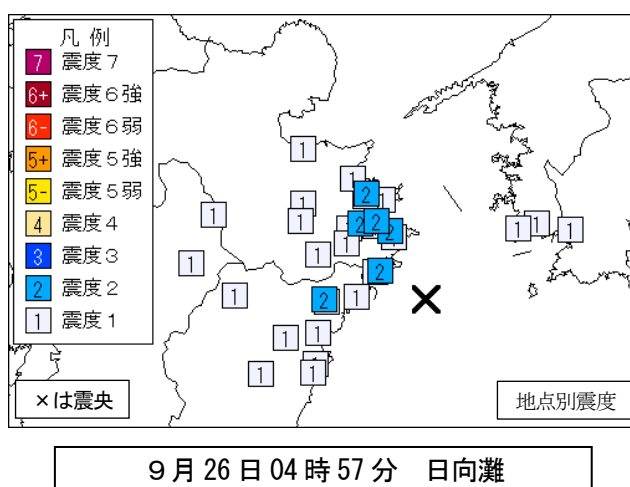
26日04時57分日向灘の地震（深さ39km、M3.9）により、大分県津久見市・佐伯市、宮崎県延岡市で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度1を観測しました。

### 3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（9月）

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2020年09月26日04時57分	日向灘	32°41.5' N	132°07.0' E	39km	M3.9	最大震度2
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：愛南町船越*，愛南町城辺*						

注：\*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

### 4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（9月）



## 5. 地震一口メモ

### 愛媛県における中央構造線断層帯の活動について

中央構造線とは、関東から九州に達する全長 1000km を超える日本最長の大きな地質学的な境界のことをいいます。はるか昔、まだ日本がアジア大陸の一部であった時期に、大陸プレートの中で当時の海溝と平行に生じた大きな断層がこれに該当します。また、中央構造線に沿って、上下方向のずれを伴った右横ずれを主体とする、活動度の高い活断層群が存在します。この活断層群は中央構造線断層帯と呼ばれており、金剛山地東縁から和泉山脈南縁や淡路島南部の海域を経て、四国北部を東西に横断し、伊予灘や別府湾を経て、由布院に達しています（下図参照）。

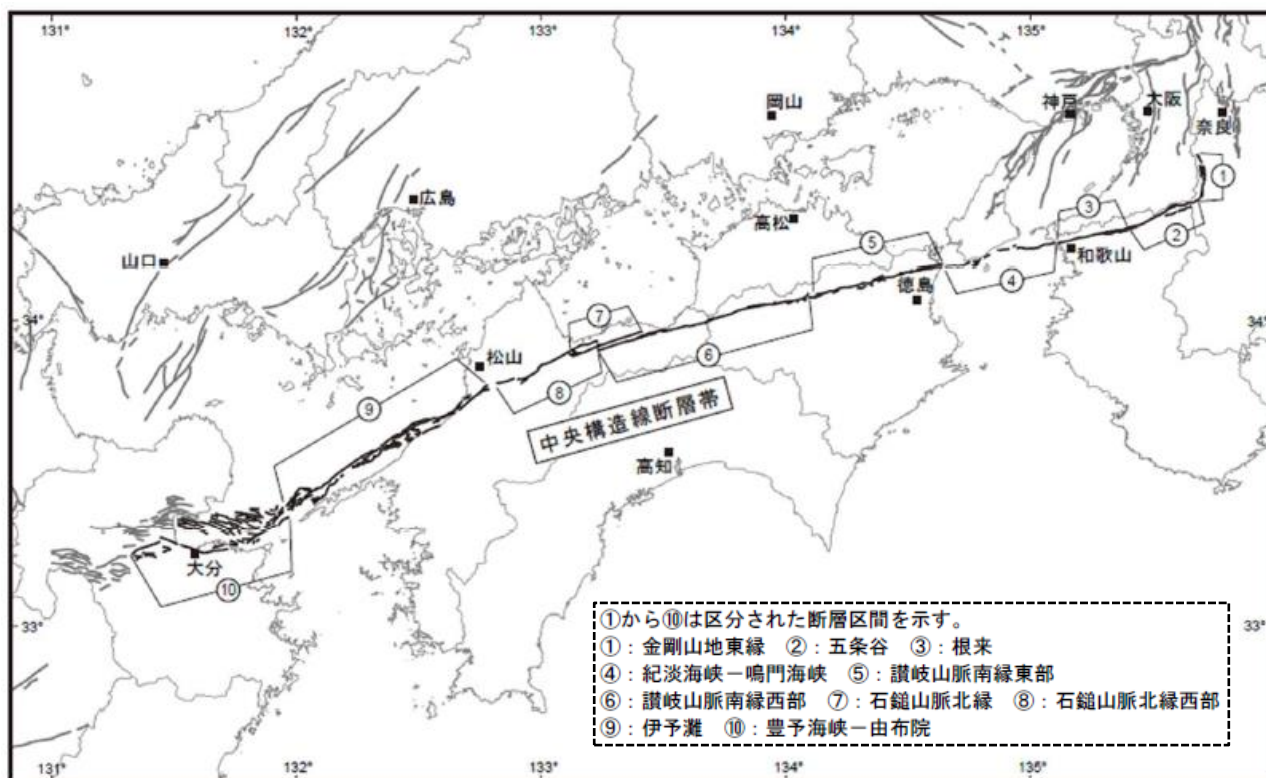


図 中央構造線断層帯の概略位置図（地震調査研究推進本部ホームページより）

愛媛県では、中央構造線断層帯を除くと、高い活動度を示す活断層は現在のところ知られていません。上図の中央構造線断層帯の中で、愛媛県やその周辺に存在する⑥・⑦・⑧・⑨の各断層区間における今後の地震活動については、政府の地震調査研究推進本部による長期評価で、下表のように報告されています。

表 愛媛県における中央構造線断層帯の今後の地震活動（地震調査研究推進本部による長期評価）

断層区間名	予想される地震規模M（マグニチュード）	予想されるずれの程度
⑥讃岐山脈南縁西部区間	M8.0程度もしくはそれ以上	8m程度もしくはそれ以上の右横ずれ
⑦石鎚山脈北縁区間（岡村断層）	M7.3程度	3m程度の右横ずれ
⑧石鎚山脈北縁西部区間	M7.5程度	4m程度の右横ずれ
⑨伊予灘区間	M8.0程度もしくはそれ以上	8m程度もしくはそれ以上の右横ずれ

また、同じく地震調査研究推進本部によると、長期評価で得られた地震発生の長期確率は、⑧石鎚山脈北縁西部区間では、今後 30 年の間に地震が発生する確率は、ほぼ 0%から 12%とされており、国内の主な活断層の中では発生確率が最も高いグループに属すると報告されています。

参考：地震調査研究推進本部（主要活断層の長期評価）

[https://www.jishin.go.jp/evaluation/long\\_term\\_evaluation/major\\_active\\_fault/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/major_active_fault/)